

# まちなみ・景観部門



## ■大林組旧神戸支店の外壁・景観保存（神戸市中央区）



- 震災により被害を受けた近代洋風建築物である大林組旧神戸支店の壁面を保存し、その一部を地下鉄の入り口として利用している。
- 貴重な歴史的遺産を活用し、地下鉄のサインも周辺になじむような落ち着いたデザインである。

## ■花のみち 1番館・2番館（宝塚市）



- 背景の山並みにあわせた高低の変化と、波状にうねらせた平面的変化を意識している。
- 低層部は震災前の戸建て店舗群のイメージを残しながら、「花のみち」と一体になった回遊空間をしつらえ、視覚的に一つのシーンが舞台空間であるかのように、場面場面の演出を心掛けている。

## ■三宮中央通り（神戸市中央区）



- 三宮中央通りは、国際会館から元町までを結ぶ延長約550mの道路で、地下鉄海岸線の建設にあわせて再整備し、歩道は広く、ゆとりがある。
- ガス灯風の街灯や植栽が神戸らしい雰囲気を感じさせている。
- 一定の基準を設けてテントを設置するなど、統一感とにぎわいのあるまちなみを形成している。

## ■青垣町 応相寺団地（青垣町）



- 応相寺団地では、電線の地中化による景観への配慮とともに、玄関アプローチ、デッキテラス、花壇やベンチ等、各住戸の顔となる部分を共用空間に向けて配置し、日常的なコミュニティの場となるよう工夫している。
- 地場産材木や、土間の珪藻土たたき仕上げなど、自然素材の多用による健康への配慮を行うとともに、オール電化により安全性・機能性を追求している。

## ■阪急伊丹駅前広場 バスシェルター（伊丹市）



- デザインや色彩計画に際しては、モノトーンを基調とした軽快でシャープなデザインであり、未来へ飛翔するまちのイメージとしている。
- 柱を乗降案内や行先時刻表として利用し、すっきりとした歩きやすい駅前空間としている。

